

囲いやま森の会 観察記録

2008.4.20 野口 功

日時：2008.4.15（火）10～12時 天気：晴

記録・写真：山田幸子

そっといいことおしえてあげる。あなたがうまれたそのときに、あなたのともだちもうまれたよ。そしてあなたにあいたいと、ずうっとずうっとまっている。おおきなおおきなちきゅうのどこかで、あなたをまっているんだよ。もしもあなたのともだちが、がんばりやさんのたんぼぼならば、…
＜おのりえん著「そっといいことおしえてあげる」より＞

活動も1人より2人そして大勢の方が、そして自分を必要とされていると思う方が、楽しいものです。今日も作業ご苦労さまでした。参加されない方も、「またいつか一緒に活動できる日がくるな」と思うだけで、楽しみが増えます。顔をちょっと見られるだけでも、仲間として嬉しいものです。「囲いやまの森」で待っています。

- 1)タンポポには何種類かあります。この辺でよく観察できるのは、セイヨウタンポポ。明治時代に鑑賞用や食用として、ヨーロッパから持ち込まれました。種子が多く、受粉しなくても実が出来、花が1年中咲くため、分布地域を広げています。花を横から見ると、総苞片という緑色の部分が、反り返っています。カントウタンポポは、総苞片が反り返っていません。比較的自然度の高い場所に咲いている、在来のタンポポです。控えめな印象が好きです。
- 2)ゴミグモが観察できるようになってきました。網の中央に、ゴメリボンと呼ばれる帯を作ります。帯は、網にかかった獲物のかけらやゴミなどで作られています。普段はその中に隠れています。クモは、帯にカムフラージュされていて、見つけるのがかなり難しいです。こんど見つけることを挑戦してみてください。
- 3)ウグイスは古くから、「ホーホケキョ」のさえずりが親しまれ、またウメとの組み合わせが絵になるものとして、好まれてきました。（実際はメジロの方が、ウメでは見かけますが・・）生活のほとんどは、笹藪の中で営まれるので、あまり姿をみることはありません。2年ほど前のこと、鳥見初心者の娘をつれて、とある公園を歩いていました。そこでウグイスの姿を観察でき、「これぞビギナーズラック」と喜んだ記憶があります。ウグイスの谷渡りとは、谷間を飛び渡る時のよく響く声から、警戒声と考えられる「ケキョケキョ、ケケケケ」という声のことを言います。「春告げ鳥」「歌詠み鳥」「匂い鳥」などの異名があります。
- 4)スジグロシロチョウは見かけが、モンシロチョウとよく似ています。翅に黒線が目立つので、ちょっと気に留めて観察するとわかります。囲いやまでも観察できます。オスの体からは、柑橘系の香りがします。幼虫はタネツケバナなどが食草です。

開花植物

- 木本** アオキ(雄花・雌花)・コブシ・エノキ・アケビ・ヤマブキ・コナラ・クロモジなど
- 草本** オオイヌノフグリ・タチツボスミレ・マルバスマシレ・ムラサキケマン・ハコベ3種・ショカツサイ・カキドオシ・シュンラン・ヒメオドリコソウ・オニタビラコ・カラスノエンドウ・セントウソウ・スズメノカタビラ・ハルノノゲシ・ジュウニヒトエなど
- 鳥** イス・ヒヨドリ・シジュウカラ・コゲラ・アオジ・ハシブトガラスなど
- 虫** グロシロチョウ・ホソヒラタアブ・ナミテントウ・ニホントカゲ・バッタの仲間・コガネムシの仲間・アブの仲間・ゴミグモ・オオシロカネグモなど
- キノコ** カワラタケ その他3～4種

園 いやまの森

2008.4.15(火) 山田幸子

穀雨： 田畑の準備が整い、それに合わせて春の雨の降るころの節気。
最近では雨降りの日が多くなり
草花や新芽の成長が早いですね。



掲示板に観察記録を載せて
皆さんに見てもらいます



木々の芽吹き



春の仲間



エノキの花



ジュウニヒトエ



タチツボスミレ



マルバズミレ



コナラの新芽



ゴンスイの新芽



シラカシの新芽



ムラサキシキブ



セントウソウ



イヌザクラ



イヌシテの雄花序



ハナイカダ